



2020年度（2021年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2020年8月3日

エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性は、次のとおりです。ただし、これらは当社グループにかかるすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。

なお、これらは本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

企業理念に基づく経営に関するリスク、ADフランチャイズの構築に関するリスク、レンビマの価値最大化に関するリスク、パートナーシップモデルに関するリスク、デジタルトランスフォーメーションに関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、副作用発現のリスク、製品品質および安定供給に関するリスク、知的財産に関するリスク、訴訟に関するリスク、データの信頼性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、サクセッションに関するリスク、情報セキュリティに関するリスク、新型コロナウイルス感染症に関するリスク、気候変動に関するリスク、のれんや無形資産の減損に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2019年度 第1四半期	期中平均レート	109.90	123.48	141.16	16.07
	期末日レート	107.79	122.49	136.57	15.69
2019年度 通期	期中平均レート	108.73	120.81	138.24	15.60
	期末日レート	108.83	119.55	133.32	15.31
2020年度 第1四半期	期中平均レート	107.62	118.47	133.52	15.17
	期末日レート	107.74	121.08	132.51	15.23
2020年度	予想レート	105.00	117.00	130.00	14.60

- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等）、一般用医薬品等（日本）の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2019年度				2020年度				2020年度	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	1,540	100.0	6,956	100.0	1,656	100.0	107.5	116	7,190	100.0
売上原価	429	27.9	1,757	25.3	383	23.1	89.3	△46	1,715	23.9
売上総利益	1,111	72.1	5,199	74.7	1,273	76.9	114.6	162	5,475	76.1
販売費及び一般管理費	600	38.9	2,563	36.8	649	39.2	108.3	50	2,945	41.0
販売費	247	16.0	1,072	15.4	282	17.0	114.2	35	—	—
人件費	211	13.7	881	12.7	220	13.3	104.6	10	—	—
管理費他	142	9.2	610	8.8	147	8.9	103.3	5	—	—
研究開発費	294	19.1	1,401	20.1	305	18.4	103.7	11	1,655	23.0
その他の収益	48	3.1	64	0.9	7	0.4	14.9	△41	5	0.1
その他の費用	7	0.4	44	0.6	4	0.3	65.2	△2	—	—
営業利益	258	16.8	1,255	18.0	321	19.4	124.4	63	880	12.2
金融収益	14	0.9	40	0.6	7	0.4	45.2	△8	—	—
金融費用	3	0.2	15	0.2	3	0.2	106.2	0	—	—
税引前四半期（当期）利益	270	17.5	1,281	18.4	324	19.6	120.3	55	900	12.5
法人所得税	49	3.2	56	0.8	77	4.6	158.0	28	—	—
四半期（当期）利益	221	14.3	1,225	17.6	248	14.9	112.0	27	675	9.4
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	217	14.1	1,218	17.5	244	14.8	112.7	28	670	9.3
非支配持分	4	0.3	7	0.1	3	0.2	77.1	△1	—	—

四半期（当期）包括利益	31	2.0	962	13.8	237	14.3	772.0	206
-------------	----	-----	-----	------	-----	------	-------	-----

EPS（円）	75.64	425.01	85.23	233.00
DPS（円）	—	160	—	160
ROE（%）	—	18.6	—	9.7
DOE（%）	—	7.0	—	6.7

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS：基本的1株当たり四半期（当期）利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

＜コメント＞

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤「レンビマ」が引き続き大幅に伸長（当期 347億円、前年同期 248億円） Royalty Pharma（米国）への抗がん剤タゼメトスタットの権利譲渡対価：115億円
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> 米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益（当期 165億円、前年同期 109億円）を費用計上
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 抗アミロイドβプロトフィブリル抗体「BAN2401」を中心に積極的な資源投入 パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制（自社主要品に関するパートナー負担額：当期 166億円、前年同期 180億円）
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期はエルメッド エーザイの譲渡益44億円を計上
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：△38.4億円、営業利益：△11.3億円
■為替感応度 (1円の円高に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：米ドル △18.3億円、ユーロ △3.0億円、英ポンド △0.6億円、人民元 △62.9億円 営業利益：米ドル +1.8億円、ユーロ △2.6億円、英ポンド+0.7億円、人民元 △35.3億円

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2019年度		2020年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,498	5,773	1,484	99.0	101.3
日本 医薬品事業	654	2,471	597	91.4	91.4
アメリカス 医薬品事業	296	1,279	342	115.4	117.9
米国	293	1,265	338	115.3	117.8
中国 医薬品事業	221	770	238	107.9	114.3
EMEA 医薬品事業	137	537	134	98.0	103.3
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	126	466	111	88.1	92.0
一般用医薬品等	65	249	61	94.7	94.7
その他事業	42	1,184	172	412.1	423.4
連結売上収益	1,540	6,956	1,656	107.5	110.0

* 外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2019年度		2020年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	668	2,304	685	102.7	104.6
日本 医薬品事業	277	942	253	91.3	91.3
アメリカス 医薬品事業	154	600	172	111.3	113.8
中国 医薬品事業	104	328	138	132.9	140.5
EMEA 医薬品事業	67	230	66	98.3	97.6
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	46	160	43	91.9	94.6
一般用医薬品等	19	45	14	74.8	74.8
その他事業	16	1,085	151	946.9	973.1
研究開発費	△294	△1,401	△305	103.7	105.7
親会社の本社管理費等*	△175	△777	△210	120.4	120.2
子会社売却益	44	44	—	—	—
連結営業利益	258	1,255	321	124.4	128.7

* パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業（医療用医薬品）

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	654	2,471	597	91.4
セグメント利益	277	942	253	91.3
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	130	519	125	96.2
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	71	286	61	85.5
抗がん剤 レンビマ	34	131	37	107.4
不眠症治療剤 ルネスタ	33	126	36	110.0
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	38	139	33	85.0
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	41	133	29	69.2
プロトンポンプ阻害剤 バリエット*	33	106	22	68.0
抗がん剤 ハラヴェン	26	92	22	86.5
抗リウマチ剤 ケアラム	15	64	20	128.8
抗がん剤 トリアキシン	20	77	19	92.8
成分栄養剤 エレンタール*	17	64	17	98.4
抗てんかん剤 フィコンパ	10	39	12	128.3
慢性便秘症治療剤 グーフイス*	8	36	11	150.9

・バリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米)

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	296	1,279	342	115.4 <117.9>
米国	293	1,265	338	115.3 <117.8>
セグメント利益	154	600	172	111.3 <113.8>
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	138	680	215	155.7 <159.1>
米国 (百万米ドル)	137 (125)	676 (622)	214 (199)	155.5 <158.8>
抗てんかん剤 Banzel	68	224	51	75.6 <77.2>
米国 (百万米ドル)	68 (61)	221 (204)	51 (47)	75.6 <77.2>
抗がん剤 ハラヴェン	37	147	32	86.9 <88.8>
米国 (百万米ドル)	36 (32)	143 (132)	31 (29)	87.4 <89.3>
抗てんかん剤 Fycompa	30	130	30	102.2 <104.5>
米国 (百万米ドル)	29 (26)	125 (115)	29 (27)	101.7 <103.9>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	9	40	8	85.2 <87.1>
米国 (百万米ドル)	9 (9)	40 (37)	8 (7)	85.2 <87.1>

- ・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アシフェックスの上記売上収益は、全額が米国における売上収益です。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	221	770	238	107.9 <114.3>
セグメント利益	104	328	138	132.9 <140.5>
中国 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	64 (398)	201 (1,290)	69 (454)	107.7 <114.1>
抗がん剤 レンビマ (百万人民元)	35 (218)	133 (850)	42 (275)	118.8 <125.9>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠 (百万人民元)	24 (149)	103 (660)	24 (158)	99.6 <105.5>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	28 (173)	97 (623)	22 (145)	79.2 <83.9>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット (百万人民元)	18 (113)	50 (323)	17 (113)	94.7 <100.3>
抗がん剤 ハラヴェン (百万人民元)	— —	4 (25)	1 (8)	— <—>
抗てんかん剤 Fycompa (百万人民元)	— —	1 (4)	1 (6)	— <—>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	137	537	134	98.0 <103.3>
セグメント利益	67	230	66	98.3 <97.6>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ／Kisplyx	30	127	39	131.2 <138.9>
抗がん剤 ハラヴェン	39	138	32	80.6 <85.9>
抗てんかん剤 Fycompa	17	71	17	99.4 <104.3>
抗てんかん剤 Zebinix	16	65	16	103.2 <107.8>
抗てんかん剤 ソネグラン	10	39	8	78.5 <82.4>
抗てんかん剤 イノベロン	6	24	6	91.5 <96.0>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	126	466	111	88.1 <92.0>
セグメント利益	46	160	43	91.9 <94.6>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	29	108	26	90.5 <94.6>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	31	96	20	65.6 <70.1>
抗がん剤 レンビマ	10	48	14	138.6 <144.1>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	12	42	13	105.0 <108.9>
抗がん剤 ハラヴェン	8	21	7	89.1 <93.6>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	7	30	6	81.4 <83.0>
抗てんかん剤 Fycompa	3	11	3	115.2 <119.0>

- ・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

6) 一般用医薬品等

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	65	249	61	94.7
セグメント利益	19	45	14	74.8
一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	43	155	31	72.1

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジー領域製品計	503	1,833	438	87.2 <89.1>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	111	380	109	98.2 <102.0>
日本	38	139	33	85.0
中国	64	201	69	107.7 <114.1>
アジア・ラテンアメリカ	7	30	6	81.4 <83.0>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	100	349	78	78.2 <80.7>
日本	41	133	29	69.2
中国	28	97	22	79.2 <83.9>
アジア・ラテンアメリカ	29	108	26	90.5 <94.6>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	60	253	64	107.6 <110.5>
日本	10	39	12	128.3
アメリカス	30	130	30	102.2 <104.5>
中国	—	1	1	— <—>
EMEA	17	71	17	99.4 <104.3>
アジア・ラテンアメリカ	3	11	3	115.2 <119.0>
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症)) ・日本	71	286	61	85.5
イノペロン/Banzel (抗てんかん剤)	76	254	59	77.3 <79.2>
アメリカス	68	224	51	75.6 <77.2>
EMEA	6	24	6	91.5 <96.0>
ルネスタ (不眠症治療剤) ・日本	33	126	36	110.0
Zebinix (抗てんかん剤) ・EMEA	16	65	16	103.2 <107.8>
ソネグラン (抗てんかん剤)	12	45	10	81.9 <85.9>
EMEA	10	39	8	78.5 <82.4>
その他	25	76	6	23.6 <24.1>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
オンコロジー領域製品計	396	1,659	477	120.4 <124.0>
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	248	1,119	347	140.2 <144.2>
日本	34	131	37	107.4
アメリカス	138	680	215	155.7 <159.1>
中国	35	133	42	118.8 <125.9>
EMEA	30	127	39	131.2 <138.9>
アジア・ラテンアメリカ	10	48	14	138.6 <144.1>
ハラヴェン (抗がん剤)	109	402	94	85.8 <88.8>
日本	26	92	22	86.5
アメリカス	37	147	32	86.9 <88.8>
中国	—	4	1	— <—>
EMEA	39	138	32	80.6 <85.9>
アジア・ラテンアメリカ	8	21	7	89.1 <93.6>
トレアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	21	80	20	92.0 <92.2>
その他	18	58	17	92.4 <96.3>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2020年度）

（億円）

	2019年度		2020年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
日本（医療用医薬品）	654	2,471	597	2,540
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	130	519	125	520
抗がん剤 レンピマ	34	131	37	150
不眠症治療剤 ルネスタ	33	126	36	135
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	38	139	33	120
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	41	133	29	100
抗てんかん剤 フィコンパ	10	39	12	100
抗がん剤 ハラヴェン	26	92	22	95
抗リウマチ剤 ケアラム	15	64	20	85
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	33	106	22	75
慢性便秘症治療剤 グーフィス*	8	36	11	65
アメリカス	296	1,279	342	1,540
米国	293	1,265	338	1,520
中国	221	770	238	800
EMEA	137	537	134	560
アジア・ラテンアメリカ	126	466	111	470
一般用医薬品等	65	249	61	260
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	43	155	31	135
その他	42	1,184	172	1,020
連結売上収益	1,540	6,956	1,656	7,190
主要品目グローバル売上収益				
レンピマ/Kisplyx	248	1,119	347	1,580
日本	34	131	37	150
アメリカス	138	680	215	1,010
中国	35	133	42	190
EMEA	30	127	39	170
アジア・ラテンアメリカ	10	48	14	60
ハラヴェン	109	402	94	420
日本	26	92	22	95
アメリカス	37	147	32	140
中国	—	4	1	20
EMEA	39	138	32	135
アジア・ラテンアメリカ	8	21	7	30
フィコンパ/Fycompa	60	253	64	340
日本	10	39	12	100
アメリカス	30	130	30	140
中国	—	1	1	5
EMEA	17	71	17	80
アジア・ラテンアメリカ	3	11	3	15
アリセプト	100	349	78	350
パリエット/アシフェックス	73	241	61	240

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2019年度		2020年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	221	1,225	248	112.0	27
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△ 25	△ 62	11	—	36
確定給付制度に係る再測定	—	△ 29	—	—	—
小計	△ 25	△ 91	11	—	36
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	△ 165	△ 174	△ 22	—	144
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	2	0	268.6	0
小計	△ 165	△ 172	△ 21	—	144
その他の包括利益合計	△ 190	△ 263	△ 10	—	180
四半期（当期）包括利益	31	962	237	772.0	206
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	26	955	234	883.6	207
非支配持分	4	7	3	78.0	△ 1

(億円、%)

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2019年度	2020年度	
	1Q	1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	270	324	55
減価償却費及び償却費	83	87	4
運転資本の増減額（△は増加）	△ 281	△ 229	52
利息及び配当金の受取額	14	7	△ 7
利息の支払額	△ 1	△ 3	△ 1
法人所得税の支払額	△ 70	△ 71	△ 1
その他	△ 55	△ 15	39
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	100	141
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 45	△ 88	△ 43
有形固定資産の売却による収入	8	0	△ 8
無形資産の取得による支出	△ 220	△ 32	187
子会社の売却による収入	58	—	△ 58
金融資産の取得による支出	△ 7	△ 6	1
金融資産の売却・償還による収入	1	0	△ 0
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△ 205	△ 126	78
3カ月超預金の預入による支出	△ 0	△ 0	0
3カ月超預金の払戻による収入	5	1	△ 4
その他	△ 2	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 201	△ 125	76
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	△ 90	—	90
リース負債の返済による支出	△ 23	△ 24	△ 1
配当金の支払額	△ 229	△ 229	△ 0
その他	△ 0	△ 1	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 342	△ 254	88
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 80	△ 1	79
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 664	△ 279	385
現金及び現金同等物の期首残高	2,919	2,542	△ 377
現金及び現金同等物の期末残高	2,255	2,263	8

フリー・キャッシュ・フロー	△ 245	△ 26	219
---------------	-------	------	-----

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前四半期利益の増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
無形資産の取得による支出の減少などにより、資本的支出等が減少
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払いを実施

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2019年度		2020年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	265	502	121	△ 144	560
有形固定資産	45	153	88	43	210
無形資産	220	350	32	△ 187	350
減価償却費及び償却費	83	337	87	4	350
有形固定資産	44	178	47	3	180
無形資産	39	159	40	1	170

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2019年度		2020年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,446	13.6	1,443	13.9	99.8	△ 3
のれん	1,687	15.9	1,670	16.1	99.0	△ 17
無形資産	1,061	10.0	1,035	9.9	97.5	△ 26
その他の金融資産	398	3.7	423	4.1	106.4	25
その他	151	1.4	144	1.4	95.0	△ 8
繰延税金資産	664	6.3	676	6.5	101.8	12
非流動資産合計	5,407	50.9	5,390	51.8	99.7	△ 17
流動資産						
棚卸資産	657	6.2	709	6.8	107.9	52
営業債権及びその他の債権	1,800	16.9	1,840	17.7	102.2	40
その他の金融資産	16	0.1	7	0.1	42.9	△ 9
その他	198	1.9	194	1.9	97.5	△ 5
現金及び現金同等物	2,542	23.9	2,263	21.8	89.0	△ 279
流動資産合計	5,214	49.1	5,012	48.2	96.1	△ 202
資産合計	10,621	100.0	10,403	100.0	97.9	△ 218

<コメント>

<p>■資産の部 （営業債権及びその他の債権） （現金及び現金同等物）</p>	<p>売上収益の増加に伴う売掛金の増加 営業債務及びその他の債務の支払いに伴う減少</p>
---	---

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2019年度		2020年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.2	450	4.3	100.0	—
資本剰余金	776	7.3	776	7.5	100.0	△ 0
自己株式	△ 343	△ 3.2	△ 343	△ 3.3	99.8	1
利益剰余金	5,054	47.6	5,080	48.8	100.5	26
その他の資本の構成要素	845	8.0	824	7.9	97.5	△ 21
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,781	63.8	6,786	65.2	100.1	5
非支配持分	245	2.3	247	2.4	100.7	2
資本合計	7,026	66.2	7,033	67.6	100.1	7
負債						
非流動負債						
借入金	549	5.2	550	5.3	100.0	0
その他の金融負債	366	3.4	356	3.4	97.4	△ 10
引当金	13	0.1	14	0.1	101.4	0
その他	141	1.3	132	1.3	93.8	△ 9
繰延税金負債	6	0.1	3	0.0	52.4	△ 3
非流動負債合計	1,075	10.1	1,055	10.1	98.1	△ 21
流動負債						
借入金	350	3.3	350	3.4	100.0	0
営業債務及びその他の債務	769	7.2	619	5.9	80.5	△ 150
その他の金融負債	255	2.4	213	2.0	83.5	△ 42
未払法人所得税	54	0.5	63	0.6	117.8	10
引当金	187	1.8	178	1.7	95.0	△ 9
その他	905	8.5	892	8.6	98.6	△ 12
流動負債合計	2,520	23.7	2,315	22.3	91.9	△ 204
負債合計	3,595	33.8	3,370	32.4	93.7	△ 225
資本及び負債合計	10,621	100.0	10,403	100.0	97.9	△ 218

<コメント>

■資本の部 (利益剰余金)	配当金の支払いと同水準の四半期利益計上により、前期末よりほぼ変動なし
■負債の部 (営業債務及びその他の債務) (その他の金融負債—流動)	主に未払金の減少 主に預り金(米メルク社からの研究開発償還金)の減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,540	1,453	1,868	2,096	1,656
売上原価	429	403	440	485	383
売上総利益	1,111	1,050	1,428	1,610	1,273
販売費及び一般管理費	600	605	680	679	649
販売費	247	258	294	274	282
人件費	211	208	242	220	220
管理費他	142	139	144	185	147
研究開発費	294	386	350	371	305
その他の収益	48	6	10	0	7
その他の費用	7	2	△5	40	4
営業利益	258	62	413	522	321
金融収益	14	9	11	6	7
金融費用	3	3	3	6	3
税引前四半期利益	270	68	421	523	324
法人所得税	49	15	△45	37	77
四半期利益	221	53	465	486	248
四半期利益の帰属					
親会社所有者	217	53	463	485	244
非支配持分	4	△1	3	1	3
四半期包括利益	31	16	581	334	237
E P S (円)	75.64	18.58	161.46	169.31	85.23

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△41	125	208	736	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201	△35	△29	△12	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342	△163	△271	△260	△254
現金及び現金同等物の期末残高	2,255	2,154	2,125	2,542	2,263
フリー・キャッシュ・フロー	△245	86	138	704	△26

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額（キャッシュベース）	265	45	68	124	121
有形固定資産	45	26	26	56	88
無形資産	220	19	42	69	32
減価償却費及び償却費	83	82	86	86	87
有形固定資産	44	43	45	46	47
無形資産	39	39	41	40	40

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2019年度				2020年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	10,262	10,102	10,514	10,621	10,403
資本	6,321	6,338	6,690	7,026	7,033
親会社の所有者に帰属する持分	6,078	6,097	6,446	6,781	6,786
負債	3,941	3,763	3,824	3,595	3,370
借入金	1,299	1,154	1,139	899	899
親会社所有者帰属持分比率（％）	59.2	60.4	61.3	63.8	65.2
負債比率（Net DER／倍）	△0.24	△0.24	△0.22	△0.29	△0.25

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	503	457	488	385	438
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	111	106	100	63	109
日本	38	35	37	28	33
中国	64	61	54	23	69
アジア・ラテンアメリカ	7	8	8	7	6
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	100	92	92	66	78
日本	41	33	35	23	29
中国	28	31	27	11	22
アジア・ラテンアメリカ	29	26	27	26	26
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	60	59	69	65	64
日本	10	10	11	9	12
アメリカス	30	30	38	33	30
中国	—	—	0	1	1
EMEA	17	16	18	20	17
アジア・ラテンアメリカ	3	3	3	3	3
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症))・日本	71	68	82	65	61
イノベロン/Banzei (抗てんかん剤)	76	54	63	61	59
アメリカス	68	47	55	54	51
EMEA	6	6	6	6	6
ルネスタ (不眠症治療剤)・日本	33	31	35	28	36
Zebinix (抗てんかん剤)・EMEA	16	15	16	18	16
ソネグラン (抗てんかん剤)	12	11	10	12	10
EMEA	10	10	9	10	8
その他	25	21	22	7	6

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2019年度				2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	396	390	434	439	477
レンビマ/Kisplyx (抗がん剤)	248	258	300	314	347
日本	34	35	33	29	37
アメリカス	138	145	188	209	215
中国	35	36	36	26	42
EMEA	30	28	32	37	39
アジア・ラテンアメリカ	10	13	12	13	14
ハラヴェン (抗がん剤)	109	97	99	97	94
日本	26	25	23	19	22
アメリカス	37	39	37	35	32
中国	—	—	1	3	1
EMEA	39	32	33	34	32
アジア・ラテンアメリカ	8	2	5	6	7
トリアキシン/シンベンダ (抗がん剤)	21	22	21	16	20
その他	18	13	14	13	17

11. 主要開発品

(1) 神経

開発品コード： E2007 一般名： ペランパネル 製品名： フィコンパ/Fycompa				自社品
薬効／作用機序：抗てんかん剤/AMPA 受容体拮抗剤				経口剤
<p>[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプである AMPA 受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、中国、アジアなど、65 カ国以上で承認を取得しています。また、日本と米国では、4 歳以上のてんかん患者様の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する単剤療法および併用療法での承認を取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど、65 カ国以上で承認を取得しています。米国、欧州では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤の承認を取得しています。</p>				
てんかん小児適応（用法用量追加）	311 試験	欧州		申請（2019年2月）
レノックス・ガスター症候群（効能効果追加）	338 試験	日米欧		PⅢ

開発品コード： ME2125 一般名： サフィナミド 製品名： エクフィナ				導入品 (Meiji Seika ファルマ)
薬効／作用機序：パーキンソン病治療剤/モノアミン酸化酵素 B 阻害剤				経口剤
<p>[概要] 選択的なモノアミン酸化酵素 B (MAO-B) 阻害作用により、分泌されたドパミンの分解を抑制してドパミンの脳内濃度維持を助けます。Meiji Seika ファルマが日本における製造販売承認を保有し、当社は日本における独占的販売権と、アジアにおける独占的開発・販売権を保有します。</p>				
パーキンソン病における wearing off 現象の改善	—	韓国	◎	承認（2020年6月）

開発品コード： E2006 一般名： レンボレキサント 製品名： デエビゴ/Dayvigo				自社品
薬効／作用機序：不眠症治療剤/オレキシン受容体拮抗剤				経口剤
<p>[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。米国において、入眠困難、睡眠維持困難のいずれかまたはその両方を伴う成人の不眠症の適応で新薬承認を取得しています。日本において、不眠症の適応で新薬承認を取得しています。また、アルツハイマー病/認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害で開発中です。</p>				
アルツハイマー病/認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害（効能効果追加）	202 試験	日米		PⅡ

開発品コード： BIIB037 一般名： アデュカヌマブ				共同開発品 (Biogen Inc.)
薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤/抗 Aβ 抗体				注射剤
<p>[概要] アデュカヌマブは、リバース・トランスレーショナル・メディシン (RTM) と呼ばれる Neurimmune 社のテクノロジー・プラットフォームを用いて作成されたヒト遺伝子組換えモノクローナル抗体 (mAb) であり、認知障害の兆候のない健康な高齢者、または進行が異常に遅い認知機能障害のある高齢者から採取した、非特定化 B 細胞ライブラリーに由来します。Biogen Inc.は、Neurimmune 社よりアデュカヌマブを導入しました。アデュカヌマブは、可溶性オリゴマーと不溶性線維などが凝集してアミロイドプラークを形成しうる形態のアミロイド β (Aβ) を標的のすと考えられています。フェーズⅢ試験結果につき、米国食品医薬品局 (FDA) との協議のもと、Biogen Inc.は大規模データセットを用いて新たな解析を実施し、2020 年 7 月米国 FDA に BLA (生物製剤ライセンス申請) の提出が完了しました。Biogen Inc.と共同開発をしています。</p>				
アルツハイマー病	ENGAGE/ EMERGE 試験	米国 欧州	◎ ◎	申請（2020年7月） 申請準備中

開発品コード：BAN2401			導入品 (BioArctic AB)	
薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤／抗 Aβ プロトフィブリル抗体			注射剤	
[概要] アミロイドβ (Aβ) プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている Aβ プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病 (AD) の進行を抑制することを期待しています。Biogen Inc.と共同開発を行っています。Alzheimer's Clinical Trials Consortium (ACTC) と共同でプレクリニカル AD を対象としたフェーズⅢ試験 AHEAD 3-45 を開始しました。				
	早期 AD	301 試験 (Clarity AD)	日米欧中	PⅢ
◎	プレクリニカル AD	303 試験 (AHEAD 3-45)	日米欧	PⅢ

開発品コード：E2027			自社品	
薬効／作用機序：レビー小体型認知症治療剤／PDE9 阻害剤			経口剤	
[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ (PDE) 9 阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリック GMP (cGMP) の分解を抑制し、cGMP の脳内濃度を維持することにより、レビー小体型認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。				
	レビー小体型認知症	201 試験 (DELPHIA)	日米欧	PⅡ/Ⅲ

開発品コード：E2730			自社品	
薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／シナプス機能モジュレーター			経口剤	
[概要] 活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する新規作用機序を持つ化合物です。希少てんかんを含むてんかんや、てんかん原性等に対する新たな神経疾患治療薬になることを期待しています。				
	てんかん	201 試験	米国	PⅡ

開発品コード：E2814			共同創出品 (ロンドン大学)		注射剤
	アルツハイマー病	—	米国	PⅠ	

(2) がん

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンビマ				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／キナーゼ阻害剤				経口剤
<p>【概要】血管内皮増殖因子受容体（VEGFR）や線維芽細胞増殖因子受容体（FGFR）に加え、血小板由来増殖因子受容体（PDGFR）、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ（RTK）に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど 65 カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がん（セカンドライン）のエベロリムスとの併用療法に係る適応で、米国、欧州など 55 カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名 Kisplyx を使用しています。さらに、肝細胞がん（ファーストライン）に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど 65 カ国以上において承認を取得しています。ペムプロリズマブとの併用療法について、子宮内膜がんに係る適応で、米国など 5 カ国以上で承認を取得しています。Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.（米メルク社）と共同開発をしています。</p>				
単剤療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
	甲状腺がん	303/308 試験	中国	申請（2019 年 11 月受理）
◎	胸腺がん	NCCH1508 試験	日本	申請（2020 年 7 月）
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
	子宮内膜がん・セカンドライン	309 試験	日米欧	PⅢ
	肝細胞がん・ファーストライン	LEAP-002 試験	日米欧中	PⅢ
	メラノーマ・ファーストライン	LEAP-003 試験	米欧中	PⅢ
	非扁平上皮非小細胞肺がん・ファーストライン	LEAP-006 試験	日米欧中	PⅢ
	PD-L1 陽性の非小細胞肺がん・ファーストライン	LEAP-007 試験	日米欧中	PⅢ
	子宮内膜がん・ファーストライン	LEAP-001 試験	日米欧中	PⅢ
	非小細胞肺がん・セカンドライン	LEAP-008 試験	日米欧	PⅢ
	膀胱がん（シスプラチン不適格）・ファーストライン	LEAP-011 試験	日米欧中	PⅢ
	頭頸部がん・ファーストライン	LEAP-010 試験	日米欧中	PⅢ
◎	頭頸部がん・セカンドライン	LEAP-009 試験	米欧	PⅡ
	固形がん（子宮内膜がん、腎細胞がん、頭頸部がん、尿路上皮がん、非小細胞肺がん、メラノーマ）	111 試験 —	米欧 日本	PⅠ/Ⅱ PⅠ
	メラノーマ・セカンドライン	LEAP-004 試験	米欧	PⅡ
	固形がん（トリプルネガティブ乳がん、卵巣がん、胃癌、大腸がん、膠芽腫、胆道がん）	LEAP-005 試験	米欧	PⅡ
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブと肝動脈化学塞栓療法との併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
◎	肝細胞がん・ファーストライン	LEAP-012 試験	日米欧中	PⅢ
抗がん剤エベロリムスまたは抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
	腎細胞がん・ファーストライン	307 試験	日米欧	PⅢ
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発（効能効果追加）				
	肝細胞がん	—	日本	PⅠ

◎2020 年 7 月、切除不能肝細胞がんに対する一次療法として 116 試験の結果に基づいて申請していたペムプロリズマブとの併用療法に関し、米国食品医薬品局（FDA）より審査完了通知を受領したため本表から削除しました。

開発品コード： E7389 一般名： エリ布林 製品名： ハラヴェン				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				注射剤
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリノBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなど、75 カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど、65 カ国以上において脂肪肉腫（日本では悪性軟部腫瘍）に係る適応追加の承認を取得しています。				
単剤療法（剤形追加）				
	リボソーム製剤	—	日欧	PI
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
	トリプルネガティブ乳がん	218 試験	米国	PI/II
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発（剤形追加）				
	リボソーム製剤	120 試験	日本	PI/II

◎米国でフェーズ I / II 段階にあった HER2 陰性乳がんを対象とした Halozyne 社が開発中の PEGPH20 との併用療法について開発を終了しました。

開発品コード： E7777 一般名： デニロイキン シフチトクス（遺伝子組換え）				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン 2 受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤				注射剤
[概要] インターロイキン 2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上の IL-2 受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。				
	末梢性 T 細胞リンパ腫、皮膚 T 細胞性リンパ腫	205 試験	日本	申請（2020 年 3 月）

開発品コード： E7438 一般名： タゼメトスタット				導入品（Epizyme, Inc.）
薬効／作用機序：抗がん剤／EZH2 阻害剤				経口剤
[概要] ヒストンメチル基転移酵素を構成するタンパク質の一つである EZH2 は、エピジェネティック関連酵素として、発がんプロセスにおいて重要な役割を担っていると考えられています。E7438 は、Epizyme, Inc. が独自の創薬プラットフォームから創製した、ファーストインクラスの経口投与可能な低分子化合物であり、EZH2 の阻害を介した抗腫瘍効果が期待されています。当社は本剤の日本における開発・商業化権を保有しています。				
	B 細胞性非ホジキンリンパ腫	206 試験	日本	◎ 申請（2020 年 6 月）

開発品コード： MORAb-009 一般名： アマツキシマブ				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体				注射剤
[概要] メソセリンに対するキメラ型 IgG1 抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
	中皮腫	003/201 試験	米欧	PI/II

開発品コード：H3B-6545				自社品	
薬効／作用機序：抗がん剤／ER α 阻害剤				経口剤	
【概要】経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 α (ER α) 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型ER α をともに阻害します。エストロゲン受容体陽性／HER2 受容体陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。					
	乳がん	101 試験	米欧		PI / II
	乳がん (CDK4/6 阻害剤バルボシクリブとの併用療法)	—	米欧		PI

開発品コード：E7090				自社品	
薬効／作用機序：抗がん剤／FGFR1、2、3 阻害剤				経口剤	
【概要】経口投与可能な線維芽細胞増殖因子 (FGF) 受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤であり、FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能胆管がん (胆道がんの一種) を対象にフェーズII 試験を行っています。FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能胆道がんに対する治療を対象に、厚生労働省の「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定されています。					
	胆管がん	201 試験	日中		PII

開発品コード：H3B-6527			自社品		経口剤
	肝細胞がん	—	米欧		PI

開発品コード：H3B-8800			自社品		経口剤
	血液がん	—	米欧		PI

開発品コード：E7386			共同創出品 (PRISM BioLab)		経口剤
	固形がん	—	日欧		PI
	固形がん (レンパチニブとの併用療法)	—	日本		PI

開発品コード：MORAb-202			自社品		注射剤
	固形がん	—	日本		PI
◎	固形がん	—	米国		PI / II

開発品コード：E7130			共同創出品 (ハーバード大学)		注射剤
	固形がん	—	日本		PI

開発品コード：E7766			自社品		液剤
	固形がん	—	米欧		PI

(3) 消化器

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル				自社品
薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ $\alpha 4$ インテグリン阻害剤				経口剤
[概要] $\alpha 4$ インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 $\alpha 4$ インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。EA ファーマとキッセイ薬品が共同開発をしています。				
潰瘍性大腸炎	—	日本		PIII

開発品コード：E6007 一般名：milategrast				自社品
薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／インテグリン活性化阻害剤				経口剤
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として、EA ファーマが筑波大学と共同で製品化をめざしています。EA ファーマが開発をしています。				
潰瘍性大腸炎	201 試験	日本		PII

開発品コード：E3112		自社品	注射剤
肝臓疾患 (EA ファーマが開発)		—	PI

(4) その他

開発品コード：E5564 一般名：エリトラン				自社品
薬効／作用機序：COVID-19 による重症化抑制／TLR4 拮抗剤				注射剤
[概要] 細菌が持つエンドトキシンの活性本体である Lipid A の化学構造アナログで、天然物有機合成技術を駆使した、TLR (Toll-Like Receptor) 4 拮抗剤です。サイトカインストームの原因となる多種のサイトカイン産生シグナルの最上流に位置する TLR4 の活性化を阻害することで、COVID-19 による炎症や重症化を抑えることが期待されています。GCAR (Global Coalition for Adaptive Research) と共同で開発しています。				
©	COVID-19 による重症化抑制	REMAP-COVID	米国	PIII

開発品コード：E6011 一般名：quetmolimab				自社品
薬効／作用機序：クローン病／ヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体				注射剤
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。EA ファーマが開発をしています。				
クローン病	ET2 試験	日欧		PII

開発品コード：E6742		自社品	経口剤
自己免疫疾患		—	PI